

中学校 学級活動（２）エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
題材 「薬物乱用防止（オーバードーズ）」（第３学年）

1 題材について

(1) 生徒の実態（略）

- ・本題材に関わるアンケート結果を踏まえた生徒の実態
- ・これまでの学級活動の取組、中学校の評価規準からみた実態と目指す方向

(2) 題材設定の理由（略）

- ・本題材設定の理由
- ・本題材における指導の工夫と評価との関わり

2 評価規準 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校特別活動）より

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
<p>自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。</p>	<p>自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。</p>	<p>他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。</p>

3 事前の指導

活動の場	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】〈評価方法〉
朝の会	アンケートに記入する。 (ICT 端末の活用)	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバードーズに関する情報を得た経緯を調査し、表やグラフなどにまとめる。 ・これまでを振り返る時間を設け、課題への意識を高められるようにする。 	◎オーバードーズに関する自己の行動を振り返ろうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉
講演会	学校薬剤師によるオーバードーズに関する講演会を聴く。	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバードーズを中心とする薬物乱用への基礎理解を深める。 	◎オーバードーズを中心とする薬物乱用について理解している。

事前アンケートの内容

質問1 オーバードーズが薬物乱用の一つだと知っていましたか。

1 はい 2 いいえ

質問2 市販されている薬を決められた用量より多く摂取することはありますか。

1 はい 2 いいえ ※理由記述欄

4 本時のねらい

オーバードーズを含む薬物乱用の危険性に気付き、オーバードーズをしないためにはどうすればよいか考え、自分に合った目標を決めて実践できるようにする。

5 本時の展開

	生徒の活動	指導上の留意点	資料	◎目指す生徒の姿 【観点】<評価方法>
導入 つかむ	1 日本全体の薬物に関するグラフと生徒の事前アンケート結果を見て、気付いたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 日本全体のオーバードーズの現状と本校生徒の意識を比較し、自分たちにも関わる問題であることに気付けるようにする。 事前の薬物乱用防止講演会に関する学習を想起できるように提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> オーバードーズに関するグラフ、資料資料① 資料② 学年アンケートの結果資料③ 資料④ 	
オーバードーズについて考えよう				
展開 さぐる	2 オーバードーズをしてしまう原因を考える。	<ul style="list-style-type: none"> オーバードーズをしたときの症状についても確認する。 ICT 端末を使って、班で話し合った原因をスライドにまとめる。 既習である保健分野の「薬物乱用と健康（第2学年）、「医薬品の正しい使用（第3学年）」の学習と関連付けて考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 端末（スライド） 	
見つける	3 オーバードーズをしてしまうまでのシナリオをグループで考える。	<ul style="list-style-type: none"> シナリオチャートを使用して、グループでオーバードーズをしてしまうまでの過程を考えることで、様々な要因からオーバードーズに至ることに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 端末（シナリオチャート） 	
	4 シナリオチャートをもとに、オーバードーズをしないために大切なことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 多様にあるオーバードーズをしてしまうポイントやしないための手立てに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 端末（学習カード） 	◎どうすればオーバードーズをしない生活ができるのかを考えている。 【思考・判断・表現】 〈観察・学習カード〉
終末 決める	5 話し合ったことをもとにして、オーバードーズをしないための個人目標を決める。	<ul style="list-style-type: none"> 話し合ったことをもとにして、自分に合った具体的な目標になるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 端末（学習カード） 	◎自分の課題に合った具体的な目標を決めている。 【思考・判断・表現】 〈学習カード〉
	6 学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 何か困ったことがあれば信頼できる大人や公的機関に相談すること促す。 		

6 事後の指導

活動の場	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】〈評価方法〉
日常生活	自分が決めた目標や取組について振り返る。	・事後に振り返る機会を設定し、継続した取組になるよう適切に価値づけしたり助言したりする。	◎これからもオーバードーズをしない生活を送ることの見通しをもち、自己の課題を改善しようとしている。 【主体的態度】〈学習カード〉

7 資料等

【板書】

オーバードーズ
めあて オーバードーズについて考えよう

つかむ

さぐる

見つける

決める

アンケートの比較

資料①

資料②

資料③

資料④

オーバードーズに向かう原因

いじめ・虐待、孤独感
不安、興味本位、友達に誘われて、悩み、生きづらさ、現実逃避、承認欲求、(イイね) 好奇心、ノリ、断れない

オーバードーズをしてしまうと、どのようなことになるか

- ・ 気分の浮き沈み
- ・ ひと時の安心感
- ・ 体調が悪くなる
- ・ 死亡する
- ・ ストレス発散
- ・ 依存する

断れない

好奇心

- ・ 悩みを誰かに相談をする
- ・ 医療機関を利用する
- ・ ストレスの発散方法を見つける。
- ・ 薬物乱用のリスクについて理解する。

不安

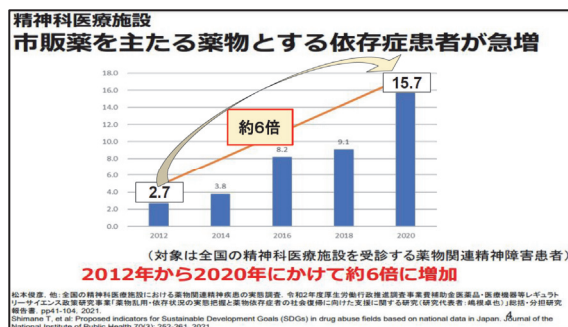
ストレス

自分ができていることを決める

左記の内容をより自分にあてはめて具体的に記入。

【資料】

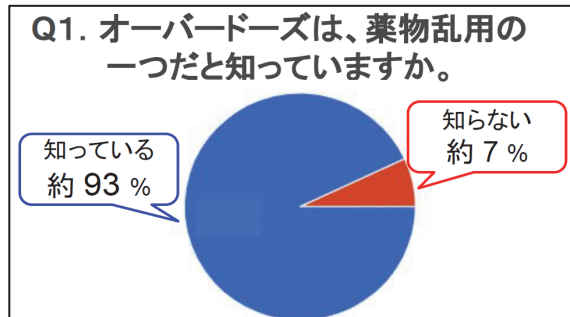
資料①



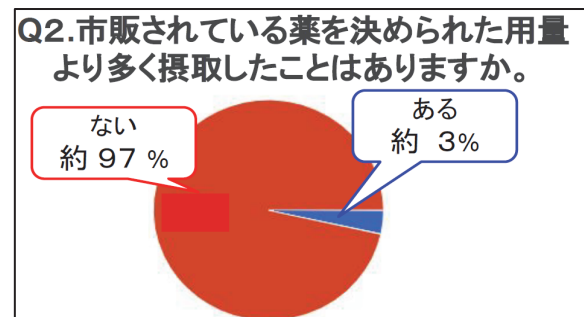
資料②



資料③



資料④



○学習カード

【スライド】


班

オーバードーズをしてしまう
原因について考えよう


【シナリオチャート】

班

オーバードーズをしてしまうまでの
過程(シナリオ)を考えよう



元気だったAさんが...



オーバードーズをして
病院に搬送された。
※市販薬の大量摂取

【個人学習カード】

学級活動(2)学習カード 題材「薬物乱用防止(オーバードーズ)」

学習の流れ

〈事前の活動〉※アンケートへの回答を考えながら、自分の現状について考え、問題意識を高める。

〈本時の活動〉※学級に共通する問題への解決方法を話し合い、一人一人に合った具体的なめあてを意思決定する。

【つかむ】(学級の実態をつかむ)

○

【さぐる】(原因をさぐる)

○

【見つける】(解決方法を見つける) ○シナリオチャートをもとに、オーバードーズしないために大切なことを記入する。

○

【決める】(自分に合うめあてを決める) ○話し合ったことをもとにして、オーバードーズをしないための具体的な個人目標を記入する。

○

〈事後の活動〉※意思決定したことを実践し、振り返る。

振り返り①	振り返り②	振り返り③
○月○日(○)	○月○日(○)	○月○日(○)
自己評価 5・4・3・2・1	自己評価 5・4・3・2・1	自己評価 5・4・3・2・1
理由	理由	理由

実践後の振り返り